

自転車通行を考慮した交差点設計の考え方

道路ネットワークを形成するにあたり、道路が多く交差点によって様々な形で結びついてはじめて、利用者にとって価値を持つものになります。一方、交通事故の半分以上は交差点に集中的に発生しているとともに、特に都市部ではボトルネックとなるなど大きな課題となる箇所でもあります。また、昨今では自転車の車道通行の徹底や、都市部では自転車利用についても増加傾向にあるため、今までとは違った交差点設計について求められているところです。

本講習会では、全国的な自転車関連の施策や取組に関する最新状況について概括するとともに、多くの交通事故が発生する交差点を取り上げ、主に自転車通行を考慮した交差点設計に関連する技術基礎情報、基本的考え方および設計例について紹介していきます。会員の方々をはじめ、多数の皆様方のご参加をお待ちしております。

- 主催：一般社団法人 交通工学研究会 <http://www.jste.or.jp/> ■後援：警察庁・国土交通省
- 開催日：平成27年10月14日(水) [受付開始:9:30] ■募集人員：200名(定員になり次第締め切ります)
- 会場：建設交流館 グリーンホール 大阪市西区立売堀2-1-2 Tel06-6543-2551 <http://www.jsf.or.jp/>
大阪市営地下鉄 四つ橋線本町駅、中央線阿波座駅、長堀鶴見緑地線西大橋駅から、いずれも徒歩約5分
- 参加費：会員 7,200円 一般 9,257円 学生会員 3,600円 (いずれも消費税含む・テキスト代別)
- テキスト：「平面交差の計画と設計 自転車通行を考慮した交差点設計の手引」をテキストとして使用します。
本講習会の参加申込と同時にテキストの購入申込をし、当日会場でテキストを受け取る場合は、特別価格 2,835円(税込)でご購入いただけます。お申込みの際に必ず購入希望の有無をお書き込み願います。
- 申込方法：別紙「参加申込書」にご記入の上、当会宛にFAXまたは郵送願います。
メールでもお申込を受け付けております。申込方法等の詳細は、「参加申込書」をご覧ください。
- プログラム (講習タイトル及び講師は若干の変更がある場合もございますのでご了承願います)

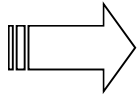
1. 平面交差点における道路交通技術を再考する 平面交差点は、自転車を含む多様な道路利用者の交通が交錯する場所として、交通安全上も交通容量上もボトルネックとなる極めて重要な場所である。ここでは、現在の情勢と今後の動向を考慮して、平面交差点を対象とした道路交通技術について改めて論じてみたい。併せて、「平面交差の計画と設計・基礎編」と「交通信号の手引」の改訂検討の現状について紹介する。 大口 敬(東京大学生産技術研究所)	10:00~10:40
2. 自転車の関係する事故の傾向と警察が進める交通安全対策 自転車の関係する事故の傾向及び警察が進める交通安全対策について紹介する。 植竹 昌人(警察庁交通局交通規制課)	10:40~11:10
3. 自転車に関わる最近の取り組み 自転車ネットワーク計画策定の促進や安全な自転車の通行空間の確保等、安全で快適な自転車利用環境創出の促進に関する国土交通省の取り組みについて紹介する。 竹下 卓宏(国土交通省道路局環境安全課)	11:10~11:40
昼 休 み	
4. 自転車通行を考慮した交差点設計の手引き はじめに 第1章 自転車交通に関する基本情報 山中 英生(自転車通行を考慮した交差点設計の手引小委員会副委員長・徳島大学大学院)	12:40~13:10
第2章 交差点部の通行制御 小早川 悟(自転車通行を考慮した交差点設計の手引小委員会委員・日本大学)	13:10~13:40
第3章 交差点部の設計例 大脇 鉄也(自転車通行を考慮した交差点設計の手引小委員会委員・国土交通省)	13:40~14:40
休 憩	
第4章 自転車対応交差点における法定外路面表示 吉田 長裕(自転車通行を考慮した交差点設計の手引小委員会委員・大阪市立大学大学院)	14:50~15:20
第5章 留意事項 海老澤 綾一(自転車通行を考慮した交差点設計の手引小委員会委員・警視庁交通部交通規制課)	15:20~15:30
休 憩	
5. パネルディスカッション これまでの講演内容に対するフロアとの意見交換や今後の展開可能性等について議論を行う。 コーディネータ：久保田尚(自転車通行を考慮した交差点設計の手引小委員会委員長・埼玉大学大学院) パネラー：大口敬、山中英生、小早川悟、大脇鉄也、吉田長裕、海老澤綾一(予定)	15:40~17:00

★悪天候時の対応など、緊急の連絡は、当会ホームページ <http://www.jste.or.jp/> の新着情報欄にてお知らせいたします。

お申込・お問い合わせ

一般社団法人 交通工学研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-23 錦町MKビル5階 Tel 050-5507-7153 Fax 03-6410-8718



交通工学研究会 行 Fax : 03-6410-8718 参加申込書

＜第95回交通工学講習会(大阪)＞ 自転車通行を考慮した交差点設計の考え方

勤務先名称			
勤務先所在地	〒	—	都府 道県
おとりまとめ担当者 (書類等の送付先)	《氏名》		《電話番号》
	《所属部課名》		

(フリガナ) 参加者氏名	所属部課名	テキスト購入の希望 (○で囲んで下さい)	交通工学研究会 会員区分 (○で囲んで下さい)	会員番号
		テキスト購入を希望する テキストを既に持っている	正会員・特別会員 学生会員・非会員	
		テキスト購入を希望する テキストを既に持っている	正会員・特別会員 学生会員・非会員	
		テキスト購入を希望する テキストを既に持っている	正会員・特別会員 学生会員・非会員	

*ご記入いただきました個人情報、本講習会の受付処理のために利用いたします。

請求書等の 宛名指定	<input type="checkbox"/> 宛名無しの場合は○印を記入 (○印のない場合は勤務先名称となります)	当会のイベントや新刊情報等の ダイレクトメールをご希望の場合は ○印を記入願います →	<input type="checkbox"/>
備考	(請求書発行等に関する指定がございましたらご記入願います。)		

■お申込について

- 参加申込書にご記入の上、当会宛にFAXまたは郵送願います。
メールでお申し込みされる場合は、参加申込書を参考に必要事項を記載の上、
メールタイトルを「第95回交通工学講習会申込」とし event@jste.or.jp 宛に送信して下さい。
- 「平面交差の計画と設計 自転車通行を考慮した交差点設計の手引」をテキストとして利用します。
テキスト購入の希望の有無を必ずお書き込み下さい。講習会の参加申し込みと同時にテキストの購入申込をし、
当日会場でテキストを受け取る場合のみ、特別価格2,835円(税込)でご購入いただけます。
- 開催日の1ヶ月前より順次、見積書・請求書・納品書及び参加カード等書類をお送りいたしますので、
お手元に書類が届きましたら、ご確認・お支払いの手続きをお願いいたします。
開催日の1週間前になっても書類が届かない場合は事務局までご連絡ください。
参加カードは忘れずにお持ち下さい。既にテキストをお持ちの方はテキストも必ずお持ちください。
- お申込後、本人が止むを得ない理由により参加できなくなった場合、または代理の方に変更される場合は、
必ず事務局にご連絡をお願いいたします。
当日ご欠席された場合も、参加費を頂戴いたしますので、ご承知おきください。後日、配布資料およびテキストを送付します。
- お支払いは、郵便振替または銀行振込にて、講習会終了後1ヶ月以内にお手続き願います(振込手数料はご負担願います)。
当日のお支払はご遠慮願います。

★悪天候時の対応など、緊急の連絡は、

当会Webページ <http://www.jste.or.jp/> の新着情報欄にてお知らせいたします。

申込書を郵送する場合は、下記宛にお送り願います。

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-23 錦町MKビル 5階 一般社団法人 交通工学研究会

自転車通行を考慮した交差点設計の手引

交通工学研究会：発行 丸善出版：発売 平成 27 年 7 月発行 A4 版 約 150 頁

本体価格 3,500 円+税 会員価格 3,150 円+税 ISBN978-4-905990-84-0 C3051

第 95 回交通工学講習会 参加申込者 特別価格 2,625 円+税



交通工学研究会では、平面交差の計画・設計(基礎編・応用編)等の出版物において、交通安全と円滑にとって極めて重要な要素である交差点の計画・設計に関する指針を発売してまいりました。一方、平成 24 年 11 月に国土交通省・警察庁から発出された「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」では、自転車レーン、車道混在の整備形態を中心に自転車ネットワークを形成する方針が示され、自転車の車道部通行を考慮した交差点設計の方針が示されています。これらは、従来に平面交差の指針では取り上げてこなかった、新しい方式であり、各地で施行事例が生まれています。

本書は、こうした自転車通行を考慮した交差点設計に関連する技術基礎情報、基本的考え方および設計例について、関係する有識者・技術者が協働してとりまとめたものです。安全で快適な自転車利用環境の創出にむけた実務に活用されることを期待しています。

～目次～

はじめに

- 1 本書の位置づけと目的
- 2 交差点と自転車交通の課題と基本的考え方
- 第 1 章 自転車交通の基本特性**
 - 1.1. 自転車の走行特性
 - 1.1.1 走行速度
 - 1.1.2 制動・加速
 - 1.1.3 占有空間・滞留面積・走行幅
 - 1.1.4 坂路
 - 1.1.5 シフト形状
 - 1.1.6 自動車とのすれ違い・追い抜かれ時の危険感
 - 1.1.7 自転車交通量の短時間分布
 - 1.1.8 自転車の平均発進車頭時間
 - 1.2. 交差点における自転車事故等の特性
 - 1.2.1 自転車事故の特性
 - 1.2.2 交差点での自転車事故
 - 1.2.3 ヒヤリハットからみた交差点での自転車の交錯特性
 - 1.2.4 交差点での自転車の違反行動
 - 1.3. 自転車の車道走行を考慮した交差点設計の分析事例
 - 1.3.1 交差点における自転車レーン設置・制御方法の評価事例
 - 1.3.2 信号交差点での通行位置明示事例とその効果
 - 1.4 交差点における交通安全施策の留意点
コラム 1 双方向自転車道の交差点処理
- 第 2 章 交差点部の通行制御**
 - 2.1 交差点部における自転車の通行制御の基本的考え方
 - 2.1.1 直進または左折の自転車通行制御
 - 2.1.2 右折の自転車通行制御
 - 2.1.3 自転車の停止に関する制御
 - 2.2 自転車用信号灯器の設置について
 - 2.2.1 現状の自転車用信号機の運用
 - 2.2.2 自転車用信号機の設置の考え方
 - 2.2.3 自転車用信号灯器の設置が必要な事例
 - 2.3 自転車通行空間設置による交差点の需要率への影響について
 - 2.4 海外における交差点部の自転車制御
コラム 2 米国における自転車考慮した交差点設計のガイドライン

第 3 章 交差点部の設計例

- 3.1 本章の構成
- 3.2 基本的な考え方
- 3.3 一般的な交差点の設計例
 - 3.3.1 標準的な十字交差点
 - 3.3.2 幅員の狭い道路の十字交差点
 - 3.3.3 幅の広い道路の十字交差点
コラム 3 双方向通行の自転車道を採用せざるを得ないケース
 - 3.3.4 細街路取り付け
- 3.4 特殊な交差点の設計例
 - 3.4.1 T型交差点(三枝)
コラム 4 もっと道幅が狭い場合
 - 3.4.2 Y型交差点(三枝)
 - 3.4.3 X型交差点(四枝)
コラム 5 ラウンドアバウト(ラウンドアバウトにおける自転車通行空間の考察)

第 4 章 交差点部における法定外路面表示

- 4.1 交差点部における法定外路面表示設置の考え方
 - 4.1.1 基本的な考え方
 - 4.1.1.1 法定外の路面表示としての要求性能
 - 4.1.1.2 矢羽根の形状と設置間隔
- 4.2 法定外路面表示の設置事例
- 4.3 法定外路面表示用カラー材料

第 5 章 法令上の留意事項

- 5.1 道路及び道路交通に関する法体系
 - 5.1.1 本章について
 - 5.1.2 道路法、道路交通法とこれらの下位法令
 - 5.1.3 道路構造と交通規制
- 5.2 道路交通法に関する留意事項
 - 5.2.1 交通規制の法的根拠
 - 5.2.2 行政法の側面から見た交通規制
 - 5.2.3 交通規制の実施要件
 - 5.2.4 交通規制のあるべき姿
 - 5.2.5 効果測定の実施と交通規制の見直し
- 5.3 道路構造基準の運用上の留意点
 - 5.3.1 道路構造基準の条例化
 - 5.3.2 道路構造令における自転車レーンの解釈
 - 5.3.3 歩車幅の考え方
 - 5.3.4 交差点に関する構造基準

□ 第 95 回交通工学講習会「自転車通行を考慮した交差点設計の考え方」テキスト利用

開催日：平成 27 年 10 月 14 日(水) 会場：大阪建設交流館 グリーンホール

本講習会参加の方は、テキスト代は特別価格 2,835 円(税込)です。(テキストは講習会当日、受付でお渡しします。)



☞ 書籍の注文・講習会の参加申し込みなど、当会ホームページをご利用ください

発行 交通工学研究会 TEL 050-5507-7153 Fax 03-6410-8718 <http://www.jste.or.jp/>

発売 丸善出版(株) TEL 03-3512-3256 Fax 03-3512-3270 <http://pub.maruzen.co.jp/>